

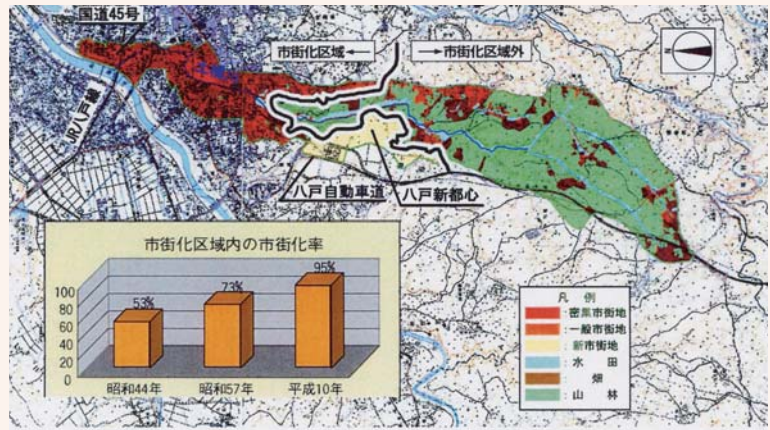
土橋川の概要

土橋川は、八戸市の南部に位置する一級河川馬淵川の右支川で、流域面積12.85km²、流路延長11.57kmの河川です。

下流域には密集した市街地が形成され、国道45号、JR八戸線等の主要交通幹線が横断し、沿川には長根運動公園や市公会堂等の公共施設を抱え、八戸市の社会経済の重要な役割を担っています。

また、上流域は水田や山林からなる豊かな自然が残されていて、カジカやカワセミ等の貴重な生息の場となっています。

土橋川は、昭和39年に白山都市下水路の指定を受け、その後昭和58年からは準用河川として八戸市が管理して来ましたが、平成15年に馬淵川合流点より約3.2km区間が一級河川の指定を受け、青森県が管理しています。



土橋川流域概要図（出典：土橋川治水計画 H15.2 八戸市）

過去の洪水被害

土橋川の流下能力は十分といえず、下流部でも16m³/s程度(確率約1/2*)となっています。このため、沿川は度々洪水被害を被っていて、平成11年10月27日から28日にかけての降雨による洪水では、浸水家屋160棟におよぶ被害となり、災害救助法の適用を受けています。

※概ね2年に1回程度発生する洪水に対応できる安全度

浸水被害状況

被害経歴	浸水被害実績						
	*1総雨量 (mm)	*3浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)		
		市街地	水田	計	床上	床下	計
S42.9.11~S42.9.23	101	38.8	25.3	64.1	219	201	420
S57.5.20~S57.5.21	160	26.0	47.8	73.8	79	121	200
H11.10.27~H11.10.28	113 *2(257)	23.0	14.9	37.9 *3	113	47	160
H13.9.11~H13.9.12	170 (165)	3.2	0.0	3.2	21	23	44

註) *1: 八戸観測所(気象庁)の値を提示
*2:()は、土橋川近傍に位置する雨量観測所(ポンプ場)の雨量観測史上最大
*3: 浸水実績図を基に計測した値
*4: 中・下流域の面積(上流域の水田地帯での氾濫も含めると71ha)



過去の洪水位の記録(売市地区)



長根運動公園周辺(平成11年10月洪水)



売市地区(平成13年9月洪水)